



Oohiradai Newspaper

大平台だより

神崎町立米沢小学校

2026年4月24日第3号 名上健一

— ほんき やるき げんき のある米沢っ子 —

交通安全教室を開催しました ~大切な命を守るために~

<下学年>



<上学年>



4月21日(火)、警察署、交通安全協会、そして町職員の方々を講師にお招きし、「交通安全教室」を実施いたしました。専門家の方から直接学ぶ、貴重な機会となりました。

高学年は玄関前に設けた模擬道路で、実際に自転車に乗って学習しました。信号機の変わり目や見通しの悪い交差点など、刻々と変わる道路状況に合わせ、「止まる・見る・待つ」の基本を一つひとつ確認。講師の方々からは「自転車は車の仲間。加害者にならない乗り方も大切」と、アドバイスをいただきました。

低学年の時間はあいにくの急な雨となりましたが、体育館にあるラインを道路に見立てて実施しました。また、模擬横断歩道を使い、横断歩道の正しい渡り方について、一人一人アドバイスを受けながら正しい横断の仕方を学びました。「右・左・右」をしっかり自分の目で確かめ、元気に手を挙げて横断する姿が印象的でした。

最後に講師の方からは、この4月から自転車の乗車に関する罰則が強化されたことについてもお話がありました。特に「スマホを見ながら」や「傘を差して」の運転は大変危険であり、厳しく罰せられる対象となることを学びました。

交通ルールを守ることは、自分と、そして周りの大切な人の命を守ることに直結します。ご家庭でも、お子様が自転車に乗る際のルールや、ヘルメットの着用について、今一度話し合っていたいただければ幸いです。

「協力は掛け算」 一緒に育む “人間としての優等生”

令和8年度がスタートして1か月。校内には子どもたちの活気あふれる声が響き、教育活動も軌道に乗ってまいりました。この節目に、改めて「学校と家庭の連携」についてお伝えしたいと思います。

子どもたちは、入学までの6年間で築かれた「家庭の土台」の上に立ち、学校という集団生活の中で「自立の基礎」を学びます。時には家庭のルールと異なる現実に戸惑い、葛藤することもあるでしょう。しかし、周囲と折り合いをつけ、感情をコントロールする経験こそが、粘り強い心と自立心を育みます。

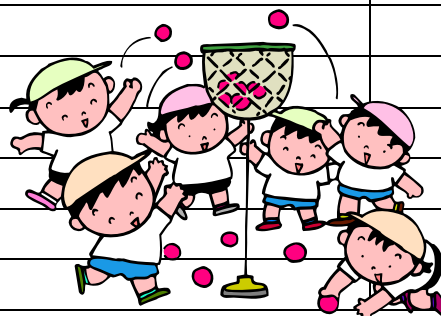
学校での出来事が家庭に持ち込まれた際、大切なのは学校と家庭が手を取り合うことです。「努力は足し算、協力は掛け算」という言葉の通り、双方が同じ方向を向いて解決の道を歩めば、教育効果は何倍にも膨らみます。

松下幸之助氏は著書『親として大切なこと』の中で、「すべての子どもが学校の優等生にはなれなくても、人間としての優等生にはなれる。それこそが尊い」と述べています。私たちが目指すのも、成績の良さだけではない、豊かな人間性を備えた成長です。

子どもたちの輝く未来のため、これからも温かい御支援と「掛け算」の御協力をお願いします。

<5月の行事予定>

日	曜日	内容	備考
1	金	あいさつ運動	
7	木	委員会活動、田植え	
8	金	眼科検診	
13	水	6年租税教室、にしきごい集会	
19	火	歯科検診	
20	木	5年スマート農業	
21	金	台湾の小学校との交流会	
25	月	クラブ活動	
26	火	プール清掃	
27	水	代表委員会	
30	土	運動会	



<お知らせ>

毎年、本校では子どもたちに関する教育相談窓口を設置しています。相談内容については、秘密厳守で対応していますので御活用ください。

○教育相談窓口

大竹教頭、吉田教諭、一鍬田養護教諭、関根スクールカウンセラー